

デュアルバンドサービスルーター WCE-G1000

取扱説明書

▲警告 安全のために

本機は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、 火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを定期的に点検してください。

故障したら使わない

すぐにサポートデスクに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

┛

- ・煙が出たら
- 異常な音・においがしたら
- 内部に水・異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



❷サポートデスクに点検・修理を依頼する

警告表示の意味	本書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理 解してから本文をお読みください。
<u>▲</u> 危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・発熱・破裂などにより死 亡や大けがなどの人身事故が生じます。
<u>∧</u> 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがな ど人身事故の原因となります。
<u>▲</u> 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをした り周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。
注意を促す記号	
行為を禁止する記号	
行為を指示する記号	日示 こうびをコン セントから抜く

目次

1.	本機について9
	1.1. 本機の特長
	1.2. 内容品を確認する9
2.	各部の名前10
	2.1. 前面 : システム状態ランプ10
	2.2. 背面:操作ボタンと端子11
3.	セットアップ方法13
	3.1. SIM カードを挿入する13
	3.2. 本機を設置する14
4.	スマートフォンやパソコンなどを本機に接続する16
	4.1.無線 LAN で接続する16
	4.2.有線 LAN で接続する16
5.	本機の設定を変更したい場合は17
	5.1. 本機にログインする17
	5.1.1. メインページ19
	5.2. システム
	5.2.1. プライオリティモード21
	5.2.2. アプリケーションモード22
	5.3. WAN 接続
	5.4.WLAN 接続23
	5.5.無線 LAN2.4GHz
	5.6.無線 LAN5GHz25
	5.7. ルーター機能詳細設定
	5.7.1. LAN ポート設定26
	5.7.2. IPv4 設定27
	5.7.3. IPv6 設定

	5.7.4.	Firewall 設定
	5.7.5.	UPNP 設定
	5.8. 本体	幾能詳細設定
	5.8.1.	パスワード変更
	5.8.2.	言語
	5.8.3.	リセット
	5.8.4.	APN 設定
	5.8.5.	LED オフ機能
	5.9. 本体	青報40
6.	その他	
6.	その他 6.1. 使用	41 上のご注意
6.	その他 … 6.1. 使用。 6.2. 無線	41 上のご注意41 LAN 機能について41
6.	その他 … 6.1. 使用。 6.2. 無線 6.3. 輸出	LAN 機能について
6.	その他 … 6.1. 使用。 6.2. 無線 6.3. 輸出 6.4. よくる	LAN 機能について
6.	その他 6.1. 使用。 6.2. 無線 6.3. 輸出 6.4. よくる 6.5. 主な	LAN 機能について
6.	その他 6.1. 使用。 6.2. 無線 6.3. 輸出 6.4. よくる 6.5. 主な 6.6. 利用	LOご注意

本書に掲載している画面やイラストは、実際とは異なる場合があります。



下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

- 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- •本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。本書に記されている使用条件以外 の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。 万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源コードを抜いてください。



分解や改造をしない

故障や火災・感電の原因となります。内部の点検および修理はサポートデスクにご依頼ください。



付属の電源アダプタ/電源コード以外は使用しない

火災や感電・誤動作の原因となります。



落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電・製品の故障を防 ぐために電源アダプタ/電源コードを抜いてください。 また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。



ぬれた手で電源アダプタ/電源コードにさわらない

ぬれた手で電源アダプタ/電源コードの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



本機は日本国内専用です

- 交流 100 V でお使いください。
 海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
 本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- ・電源コードを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の 原因となります。
- •本機の無線機能は国内専用です。海外で使うと罰せられることがあります。



危険な場所に取り付けない

天井など、安定して設置できない場所には取り付けないでください。 落下してけがの原因となります。



本機の SIM カード挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、 燃えやすいものなどの異物を入れない また、SIM カードの挿入場所や向きを間違えない

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

▲警告 🎄 🞄

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。



特定の状況下では無線機能を使用しない

本機は無線機能を内蔵しています。 以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機の無線機能を使用し ないようにしてください。また、緊急の場合には、ただちに本機の電源コードを抜いてください。

- 航空機の機内では無線機能を使用しない。
 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 本機を自動ドア・火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。
 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。
 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。



指定された電源アダプタ/電源コードを使う

付属の電源アダプタ/電源コードはこの機器のみでご使用いただく専用品です。 他の製品ではご使用になれません。 また、付属の電源アダプタ/電源コード以外は本機にはご使用にならないでください。発熱に より火災・感電の原因となることがあります。



電源コードを電源アダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。



通電中の本機や電源アダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。 また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどになる可能性がありま す。



本機や電源アダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもって本機が変形したり、故障や火災の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な場所に設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。安定した場所に本機を置いてお使いください。



水のある場所に置かない

◎↓ 水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。



お手入れの際は、電源コードを抜く

<u>コン</u> 電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



移動させるときは、電源コードを抜く

接続したまま移動させると電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している 機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 また、本機を落とさないようにご注意ください。



端子はきちんと接続する

端子はまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。



長時間使用しないときは電源コードを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



製品の上にものを載せない

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。特に、水が入ったものを置くと内部に水が入り、火災や感電の原因となることがあります。



本機に強い衝撃を与えない

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因と なることがあります。



本機を運搬するときは落下に注意する

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下すると本機が壊れたり、けがの原因となります。





幼児の手の届かないところに置く

ケーブルを首に巻きつけたり、部品や付属品を誤って飲み込んだりすると、事故やけがの原因 となります。

1. 本機について

1.1. 本機の特長

本機は、ローカル 5G システムを利用した無線 LAN ルーターです。有線 LAN または無線 LAN に利用可能な端末を接続することで、高速インターネットサービスがご利用いただけます。

1.2. 内容品を確認する

次の内容品がすべてそろっていることを確認してください。 もし、不足しているものがある場合は、サポートデスクにご連絡ください。

WCE-G1000 本体	1台	
電源アダプタ/電源コード	1 組	
LAN ケーブル	1本	
SSID ラベル(控え用) 本体底面の機種ラベルに記載されてい る SSID と同じ内容です。	1枚	パソコンやスマートフォンゼビを未能の無償しかに目紙するときは、 下記の支払の、パスフード(Key(WPA/) を入力して目紙してとだらし。 SSID (24.6Hz): WCE1K、2000-g SSID (56.Hz): WCE1K、2000-a Key (WPA): 2000/2000/2000 に満日ード様子でのあんに開催こととなきます。 和記の主張して使うーンスジャンマン・(10.4mg) 和記の無いに行って出かっ、開催してください。
スペアラベル	1枚	DUAL BAND SERVICE ROUTER WCE-G1000

2. 各部の名前

2.1. 前面:システム状態ランプ



番号	ランプの種類	ランプの色と状態	本機の状態
1	POWER	緑で点滅(🗼)	本機を起動中です。
		緑で点灯(■)	本機の起動が完了しました。 使用可能です。
2	STATUS	緑で点灯(■)	正常に動作中です。
		緑で点滅(📜)	ファームウエアをアップデート中です。
		赤で点滅(<mark>美</mark>) (ゆっくり)	SIM カードを認証中です。
		赤で点滅(<mark>美</mark>) (早い)	SIM カードを認証できません。 または SIM カードがありません。
3	LINK 1	緑で点灯(■)	5G 電波強度が十分にあります。
		緑で点滅(<mark>美</mark>) (ゆっくり)	5G 電波強度が弱くなっています。
		緑で点滅(漢) (早い)	5G 電波の圏外です。
4	LINK 2	緑で点灯(■)	W56 電波強度が十分にあります。
		緑で点滅(<mark>美</mark>) (ゆっくり)	W56 電波強度が弱くなっています。
		緑で点滅(<u>羊</u>) (早い)	W56 電波の圏外です。
5	WLAN	緑で点灯(■)	無線 LAN が有効です。
		緑で点滅(一)	WPS 認証中です。
		消灯	

2.2. 背面:操作ボタンと端子



番号	操作ボタン/端子	説明
1	通気口	本体内部の熱を逃がします。ふさがないでください。
2	LAN 1 端子(5GBASE-T 対応) と状態ランプ	LAN ポート。 RJ-45 ケーブルで PC に接続します。 5GBASE-T に対応しています。
3	LAN 2/3/4 端子(1000BASE-T 対応)と状態ランプ	LAN ポート。 RJ-45 ケーブルで PC に接続します。 1000BASE-T に対応しています。
4	RESET ボタン	先端が細いものを使用して、7 秒以上長押しすると、 設定内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。
5	WPS ボタン	本ボタンを押すことで、WPS 対応端末との接続をか んたんに行うことができます。
6	DC IN 端子	電源アダプタを接続します。
7	SIM カードトレイ(nano SIM)	SIM カードをはめ込みます。
8	SIM カード挿入口のカバー	SIM カード挿入口を保護しています。
9	機種ラベル	本機の SSID やパスワードなどが記載されています。

LAN 端子状態ランプ

LAN 端子名	ランプの色と状態	本機の状態
LAN 1	オレンジで点灯(〓)	100BASE-TX/1000BASE-T でリンクアップしていま す。
	オレンジで点滅(📜)	100BASE-TX/1000BASE-T で通信中です。
	緑で点灯(■)	5GBASE-T (2.5GE または 5GE)でリンクアップしてい ます。
	緑で点滅(📜)	5GBASE-T (2.5GE または 5GE)で通信中です。
LAN 2/	オレンジで点灯(10BASE-T/100BASE-TX でリンクアップしています。
LAN 3	オレンジで点滅(<u>羊</u>)	10BASE-T/100BASE-TX で通信中です。
	緑で点灯(■)	1000BASE-T でリンクアップしています。
	緑で点滅(📜)	1000BASE-T で通信中です。
LAN 4	オレンジで点灯(〓)	10BASE-T/100BASE-TX でリンクアップしています。 10BASE-T/100BASE-TX で通信中です。
		1000BASE-T でリンクアップしています。
	緑で点滅(📜)	1000BASE-T で通信中です。

3. セットアップ方法

3.1. SIM カードを挿入する

SIM カードの挿入は、本機の電源を切った状態で行ってください。

1. 本体底面の SIM カード挿入口のカバーを開く。

カバー下のくぼみに指(爪)をかけ、図に示す矢印の方向に引きます。



SIM カードトレイをまっすぐ引き出す。
 トレイ下のくぼみに指(爪)をかけ、トレイを引き抜きます。



SIM カードの IC (金属) 部分を上にして SIM カードトレイにはめ込む。
 切り欠きの位置にご注意ください。
 SIM カードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。



ご注意

必ず指定の SIM カードを使用してください。指定以外の SIM カードをご使用になった場合の動作保証はいたしません。

4. SIM カードトレイをまっすぐに差し込む。

●と●が合うように差し込んでください。 SIM カードトレイの表裏を逆にすると、SIM カードが落下するおそれがあります。



5. SIM カード挿入口のカバーを閉じる。 カバーを軽く押して、ぴったり閉じてください。

3.2. 本機を設置する

1. 窓際など、電波状況のよい場所に本機を設置する。 本体底面にある「矢印」を屋外に向けてください。



2. 付属の電源アダプタを DC IN 端子に接続する。



3. 電源アダプタのコードを、本体底面の溝(凹部)のいずれかに通す。 溝(凹部)は4か所あります。コンセントのある方向などに合わせて選んでください。



4. 電源アダプタと付属の電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続する。



5. 約2分待ち、システム状態ランプが下記のようになっていることを確認する。

ランプの種	類 ランプの色と状態
POWER	緑で点灯(■)
STATUS	緑で点灯(■)
LINK 1	緑で点灯(■)または点滅(↓)
LINK 2	緑で点灯(■)または点滅(→)
WLAN	緑で点灯(■)

4. スマートフォンやパソコンなどを本機に接続する

4.1. 無線 LAN で接続する

スマートフォンやパソコンなどを本機に接続します。接続方法については、お使いの機器の取扱説 明書もご覧ください。

- 1. スマートフォンやパソコンなどの無線 LAN 設定を ON にする。
- 2. ネットワークー覧画面から、本機の SSID (WCE1K-XXXX-X)を選ぶ。 SSID は、本体底面の機種ラベルまたは本機に付属の SSID ラベルをご確認ください。
- 3. パスワード入力画面が表示されたら、本機のパスワード(Key (WPA)) 13 桁を入力する。 パスワード(Key (WPA))は、本体底面の機種ラベルまたは本機に付属の SSID ラベルをご 確認ください。



手順 2 で選ぶ SSID (どちらかの SSID を選びます。) 手順 3 で入力するパスワード

二次元コードを読み取って接続する

スマートフォンやタブレットでは、二次元コードを使ってかんたんに接続することもできます。 本体底面の機種ラベルまたは本機に付属の SSID ラベルの二次元コードを読み取り、画面の指示に 従って操作し、接続してください。

ご注意

付属の SSID ラベルはパスワードが記載されているため、第三者の目に触れないよう大切に保管してください。

4.2. 有線 LAN で接続する

1. 本機の LAN 端子とパソコンの LAN 端子を、付属の LAN ケーブルで接続する。



ヒント

LAN 端子(LAN 1)に接続すると、本機の最大通信速度で通信が可能です。

5. 本機の設定を変更したい場合は

5.1. 本機にログインする

本機の各種設定を変更する場合は、下記の方法で本機にログインしてください。

- **1. お手持ちのスマートフォンやパソコンを、本機に接続する(16ページ)。** 接続方法については、お使いの機器の取扱説明書もご覧ください。
- 2. 接続したスマートフォンやパソコンのブラウザを起動する。
- **3. アドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力する。** ログインページが表示されます。

WCE -G1000	
ログインページ]
製品名: Dual Band Service Router ·	1
製品番号: WCE-G1000	2
ソフトウェア バージョン:	3
パスワード入力	
パスワード	4 4
ログイン	
システム	1
通信モード: アプリケーション	
Local5G通信状態: 接続済み	
Local5G受信レベル : 強	
W56(STA) 通信状態: 切断	
W56(STA) 受信レベル : 弱	5
W56(STA) 受信レベル: 弱 サービスコントロールサーバーとの接続: 接続中	5
W56(STA) 受信レベル: 弱 サービスコントロールサーバーとの接続: 接続中 DFS受信状況: 受信	5
W56(STA) 受信レベル : 弱 サービスコントロールサーバーとの接続 : 接続中 DFS受信状況 : 受信 無線LAN(AP@2.4GHz) : 無効	5

番号	項目名	説明
1	製品名	本機の製品名が表示されます。
2	製品番号	本機の製品番号が表示されます。
3	ソフトウェア バージョン	本機のソフトウェアバージョンが表示されます。
4	パスワード	パスワードを入力します。
5	システム	通信状態・無線 LAN 利用状態などの各種情報が表示されます。

4. 「パスワード」欄に、パスワードを入力する。

本体底面の機種ラベルまたは本機に付属の SSID ラベルに記載されたパスワード(Key (WPA))を入力します。



5. [ログイン]を選ぶ。

WCE -G1000	
ログインページ	
製品名:	Dual Band Service Router
製品番号:	WCE-G1000
ソフトウェア バージ	∃>:
パスワード入力	
パスワード	
•••••	<u></u>
ログイン	

メインページが表示されます。

ご注意

付属の SSID ラベルはパスワードが記載されているため、第三者の目に触れないよう大切に保管してください。

5.1.1. メインページ

メインページでは各設定項目を表示して、設定・変更を行うことができます。



項目名		説明	
システム		本機の通信モードを設定します(20 ページ)。	
WAN 接続		WAN 側の接続状態を確認することができます(23 ページ)。	
WLAN 接続		本機の SSID(ネットワーク名)を確認することができます(23 ペー ジ)。	
無線 LAN2.4GHz		本機の無線 LAN2.4GHz 帯の SSID やパスワードなどを設定します(24 ページ)。	
無線 LAN5GHz		本機の無線 LAN5GHz 帯の SSID やパスワードなどを設定します(25 ページ)。	
詳細設定	ルーター 機能詳細 設定	ルーター機能の詳細な設定を行います(26 ページ)。	
	本体機能 詳細設定	パスワードや言語など、本体機能の詳細な設定を行います(35 ペー ジ)。	
	本体情報	本機に関する各種情報を表示します(40ページ)。	

ヒント

[**三**] (メニュー)を選ぶとメニューが表示され、ヘルプ・お問い合わせを表示したり、ログアウトしたりします。 また、他の設定画面表示中は、メインページに戻ることもできます。

5.2. システム

本機の通信モードを設定します。

1. メインページで [システム] を選ぶ。 システムの設定項目が表示されます。



番号	項目名		説明
1	通信モード	本機の通信モードを選択します。	
		広帯域	お買い上げ時はこのモードに設定 されています。 通信帯域を有効に利用できるモー ドです。
		プライオリティ	優先するインターフェースを設定 できます。
		アプリケーション	優先的に通信する LAN 側端末を設 定できます。
2	サービスコントロールサ ーバーとの接続	サービスコントロー 利用している通信網 す。	ルサーバー(サービスプロバイダで 設備)との接続状態が表示されま

2. 設定を変更する。

3. [適用]を選ぶ。

5.2.1. プライオリティモード

通信モードとして「プライオリティ」を選択した場合に、優先するインターフェースを設定します。

1. メインページで [システム] → 「プライオリティ」の [ゆ] を選ぶ。

▼ システム	
通信モード	
○ 広帯域	
◉ プライオリティ	\$
○ アプリケーション	\$

優先順位の変更画面が表示されます。

← 優先順位の変更	
1 Sub6	^ ~
2 W56	^ ~
適用	
キャンセル	

項目名	説明
Sub6	[▲]/[♥]を選択して、Sub6 通信の優先順 位を変更します。
W56	[▲]/[▶]を選択して、W56 通信の優先順位 を変更します。

2. 設定を変更する。

3. [適用]を選ぶ。

5.2.2. アプリケーションモード

通信モードとして「アプリケーション」を選択した場合に、優先的に通信する LAN 側端末を設定します。

1. メインページで [システム] → 「アプリケーション」の [**ゆ**] を選ぶ。

▼ システム	
通信モード	
○ 広帯域	
○ プライオリティ	\$
● アプリケーション	\$

優先ホストの一覧が表示されます。

2. [優先ホスト追加]を選ぶ。

← アプリケーションモード設定	
優先ホスト一覧 X000000((ホスト名) X0000000000	Î
優先ホスト追加	

3. 各項目を設定する。

← 優先ホスト	追加	
新デバイス名:		
MACアドレス:		•
	適用	
	キャンセル	

項目名	説明
新デバイス名	ホスト名を任意で入力します。
MAC アドレス	優先ホストとして追加する端末の MAC アドレスを 入力します。

4. [適用]を選ぶ。

優先ホストの設定を削除する

- 1. 優先ホストの一覧から、削除したいホストの []]を選ぶ。
- 2. [削除する]を選ぶ。

5.3. WAN 接続

WAN 側の接続状態を確認することができます。

1. メインページで [WAN 接続] を選ぶ。

WAN 側の接続状態が表示されます。



項目名	説明
Local5G 通信状態	本機と Local5G の通信状態が表示されます。
Local5G 受信レベル	Local5Gの受信レベルが表示されます。
W56(STA)通信状態	本機とW56(STA)の通信状態が表示されます。
W56(STA)受信レベル	W56(STA)の受信レベルが表示されます。
DFS 受信状況	DFS の受信状況が表示されます。

5.4. WLAN 接続

本機の SSID (ネットワーク名) を確認することができます。

1. メインページで [WLAN 接続] を選ぶ。

本機の SSID が周波数帯ごとに表示されます。

▼ WLAN接続	
無線LAN2.4GHz:	(無線LAN名称)
無線LAN5GHz:	(無線LAN名称)

項目名	説明
無線 LAN2.4GHz	無線 LAN2.4GHz 帯の SSID が表示されます。
無線 LAN5GHz	無線 LAN5GHz 帯の SSID が表示されます。

5.5. 無線 LAN2.4GHz

本機の無線 LAN2.4GHz 帯の SSID やパスワードなどを設定します。

1. メインページで [無線 LAN2.4GHz] を選ぶ。

無線 LAN2.4GHz 帯の設定項目が表示されます。

▼ 無線LAN2.4GHz	
SSID:	
XXXXXXXXX-x	
無線LAN 状態	•
プロテクション モード: WPA2-PSK	>
無線LAN パスワード:	
	Ø
ステルス	
適用	
キャンセル	

項目名	説明
SSID	無線 LAN2.4GHz 帯の SSID(ネットワーク名)を 入力します。 最大 32 文字まで入力できます。
無線 LAN 状態	無線 LAN2.4GHz 帯を有効/無効にします。
プロテクションモード	無線 LAN2.4GHz 帯で利用する暗号化モードを選択 します。 選択できるモードは下記のとおりです。 ・None (Open)(暗号化を利用しません) ・WPA2-PSK ・WPA/WPA2-PSK ・WPA3-PSK ・WPA3-OWE ・WPA2/WPA3-PSK
無線 LAN パスワード	無線 LAN2.4GHz 帯で利用するパスワードを入力し ます。 ASCII 文字で 8~63 文字まで入力できます。
ステルス	無線 LAN2.4GHz 帯のステルス機能を有効/無効にします。

2. 設定を変更する。

3. [適用]を選ぶ。

5.6. 無線 LAN5GHz

本機の無線 LAN5GHz 帯の SSID やパスワードなどを設定します。

1. メインページで [無線 LAN5GHz] を選ぶ。

無線 LAN5GHz 帯の設定項目が表示されます。

▼ 無線LAN5GHz	
SSID:	
XXXXXXXXX-x	
無線LAN 状態	•
プロテクション モード: WPA2-PSK	>
無線LAN パスワード:	
	Ø
ステルス	
適用	
キャンセル	

項目名	説明
SSID	無線 LAN5GHz 帯の SSID(ネットワーク名)を入 力します。 最大 32 文字まで入力できます。
無線 LAN 状態	無線 LAN5GHz 帯を有効/無効にします。
プロテクションモード	無線 LAN5GHz 帯で利用する暗号化モードを選択し ます。 選択できるモードは下記のとおりです。 ・None (Open)(暗号化を利用しません) ・WPA2-PSK ・WPA/WPA2-PSK ・WPA3-PSK ・WPA3-OWE ・WPA2/WPA3-PSK
無線 LAN パスワード	無線 LAN5GHz 帯で利用するパスワードを入力しま す。 ASCII 文字で 8~63 文字まで入力できます。
ステルス	無線 LAN5GHz 帯のステルス機能を有効/無効にします。

2. 設定を変更する。

3. [適用]を選ぶ。

5.7. ルーター機能詳細設定

ルーター機能の詳細な設定を行います。

5.7.1. LAN ポート設定

LAN ポートのスピード設定を行います。

 メインページで [詳細設定] → 「ルーター機能詳細設定」行の [>] → [LAN ポート設定] を選ぶ。

LAN ポート設定の設定項目が表示されます。

← ルーター機能詳細設定	
LANポート設定	
LAN1 AUTO	>
LAN2 AUTO	>
LAN3 AUTO	>
LAN4 AUTO	>
適用	
キャンセル	

項目名	説明
LAN1	AUTO(自動)/2.5GE/5GE/1000BaseT/ 100Base-TX から選択します。
LAN2	AUTO(自動)/1000BaseT/100Base-TX/ 10Base-T から選択します。
LAN3	AUTO(自動)/1000BaseT/100Base-TX/ 10Base-T から選択します。
LAN4	AUTO(自動)/1000BaseT/100Base-TX/ 10Base-T から選択します。

2. 設定を変更する。

3. [適用]を選ぶ。

5.7.2. IPv4 設定

IPv4 に関する設定を行います。

1. メインページで [詳細設定] → 「ルーター機能詳細設定」行の [>] → [IPv4 設定] を選ぶ。 IPv4 設定の設定項目が表示されます。

▼ IPv4設定
LANポートIPアドレス
192 · 168 · 1 · 1
サブネットマスク:
255 · 255 · 255 · 0
DHCP設定
DNSプロキシ
рнсрサ−/Ҟ−
プールIPの最初:
192 · 168 · 1 · 2
ブールIPの最後:
192 · 168 · 1 · 16
リースタイム: 制限なし マ
NTPサーバー:
) 因用
キャンセル
静的DHCP割当
一覧表示
Host1
追加 >

項目名		説明	
LAN ポート IP	IP アドレス	本機の LAN 側 IP アドレスを入力します。	
アドレス	サブネットマスク	本機の LAN 側 IP サブネットマスクを入力します。	
DHCP 設定	DNS プロキシ	DNS プロキシ機能を有効/無効にします。 無効にした場合は、配布する DNS サーバー情報を 指定できます。	
	DHCP サーバー	DHCP サーバー機能を有効/無効にします。	
プール プール リース NTP サ	プール IP の最初	LAN 側端末に割り当てるプール IP アドレスの開始 位置を入力します。	
	プール IP の最後	LAN 側端末に割り当てるプール IP アドレスの最終 位置を入力します。	
	リースタイム	LAN 側端末に割り当てる IP アドレスの有効期限を 選択します。	
	NTP サーバー	DHCP オプションで割り当てる NTP サーバー情報 を入力します。	
静的 DHCP 割当	一覧表示	静的 DHCP 設定の一覧が表示されます。	

2. 設定を変更する。

3. [適用] を選ぶ。

変更した設定が反映されます。

配布する DNS サーバー情報を指定する

1. IPv4 設定で「DNS プロキシ」を無効にする。

2. 各項目を設定する。

DHCP設定				
DNSプロ=	キシ			
プライマリ	DNS IPアドレス	ζ:		
		•) * (
セカンダリ	DNS IPアドレス	K:		
	•		•	

項目名	説明
プライマリ DNS IP アドレス	第一優先で使用したい DNS IPv4 アドレスを入力します。
セカンダリ DNS IP アドレス	第二優先で使用したい DNS IPv4 アドレスを入力します。

3. [適用]を選ぶ。

1. IPv4 設定の設定項目から「追加」行の [>] を選ぶ。

静的DHCP割当	
一覧表示	
Host1 YYY.YYY.YYY, XXXXXXXXXXXXXX	Î
追加	>

2. 各項目を設定する。

← 追加			
ホスト名:			
MACアドレス:			
IPアドレス:			
•			
	適用		
	キャンセル		

項目名	説明
ホスト名	ホスト名を任意で入力します。
MAC アドレス	固定したい端末の MAC アドレスを入力します。
IP アドレス	固定したい端末に割り当てる IP アドレスを入力します。

3. [適用]を選ぶ。

静的 DHCP 設定の一覧に追加されます。

静的 DHCP 設定を削除する

- 1. 静的 DHCP 設定の一覧から、削除したい設定の []] を選ぶ。
- 2. [削除する]を選ぶ。

5.7.3. IPv6 設定

IPv6 に関する設定を行います。

メインページで [詳細設定] → 「ルーター機能詳細設定」行の [>] → [IPv6 設定] を選ぶ。
 IPv6 設定の設定項目が表示されます。

▼ IPv6設定		
DHCPサーバー	•	
IA_NA	•	
DNSオプション	•	
NTPオプション	•	
ルーター広告		
Mフラグ	•	
0フラグ	-	
Default Life Time:	1800	
Link MTU:	0	
MAX Advertise Interval:	600	
MIN Advertise Interval:	200	
適用		
キャンセル		

項目名	説明
DHCP サーバー	DHCP サーバー機能を有効/無効にします。
IA_NA	IA_NA 情報の割り当てを有効/無効にします。
DNS オプション	DNS サーバー情報割り当てオプションを有効/無 効にします。
NTP オプション	NTP サーバー情報割り当てオプションを有効/無効 にします。
ルーター広告	ルーター広告機能を有効/無効にします。
Μ フラグ	Managed フラグを有効/無効にします。
0 フラグ	OtherConfig フラグを有効/無効にします。
Default Life Time	標準有効時間を入力します。
Link MTU	MTU 値を入力します。
MAX Advertise Interval	最大広告間隔を入力します。
MIN Advertise Interval	最小広告間隔を入力します。

2. 設定を変更する。

3. [適用]を選ぶ。 変更した設定が反映されます。

5.7.4. Firewall 設定

IPv6 ファイアウォール機能によるセキュリティーを設定します。

メインページで [詳細設定] → 「ルーター機能詳細設定」行の [>] → [Firewall 設定] を 選ぶ。

Firewall 設定の設定項目が表示されます。

▼ Firewall設定			
Statefull Packet Inspection	•	ICMP Smurf	
DoS Guard		IP Fragmentation	
Denial of Service	•	IP Land	
Whole System ICMP Flood		ID Speed	
Packets per Second:	100		
Per-Source IP ICMP Flood		TCP/UDP PortScan	
Packets per Second:	100	TCP SynWithData	
Whole System TCP-SYN Flood	•	UDP Bomb	
Packets per Second:	100	жш	
Per-Source IP TCP-SYN Flood		通用	
Packets per Second:	100	キャンセル	
Whole System UDP Flood	•		
Packets per Second:	100	有効ドノイルダ	0
Per-Source UDP Flood	•	適用	
Packets per Second:	100	キャンセル	

項目名	説明
Stateful Packet Inspection	SPI 機能を有効/無効にします。

項	目名	説明
DoS Guard	Denial of Service	DoS 防御機能を有効/無効にします。
	Whole System ICMP Flood	ICMP Flood しきい値を有効/無効にします。
	Packets per Second	ICMP Flood しきい値を入力します。
	Per-Source IP ICMP Flood	一台あたりの ICMP 送信上限を有効/無効にします。
	Packets per Second	一台あたりの ICMP 送信上限値を入力します。
	Whole System TCP-SYN Flood	TCP-SYN Flood しきい値を有効/無効にします。
	Packets per Second	TCP-SYN Flood しきい値を入力します。
	Per-Source IP TCP-SYN Flood	一台あたりの TCP-SYN 送信上限を有効/無効にしま す。
	Packets per Second	一台あたりの TCP-SYN 送信上限値を入力します。
	Whole System UDP Flood	UDP Flood しきい値を有効/無効にします。
	Packets per Second	UDP Flood しきい値を入力します。
	Per-Source UDP Flood	一台あたりの UDP 送信上限を有効/無効にします。
	Packets per Second	一台あたりの UDP 送信上限値を入力します。
	ICMP Smurf	ICMP スマーフを有効/無効にします。
	IP Fragmentation	IP 断片化を有効/無効にします。
	IP Land	IP ランドを有効/無効にします。
	IP Spoof	IP スプーフを有効/無効にします。
	TCP/UDP PortScan	TCP/UDP ポートスキャンを有効/無効にします。
	TCP SynWithData	TCP 同期を有効/無効にします。
	UDP Bomb	UDP Bomb を有効/無効にします。
IP フィルタ	有効 IP フィル 夕	有効 IP フィルタを有効/無効にします。
	フィルタリング 方法	フィルタリング方法を Black List(拒否)/White List (許可)から選択します。
	一覧表示	IP フィルタのルール一覧が表示されます。

- 2. 設定を変更する。
- 3. [適用]を選ぶ。 変更した設定が反映されます。

IP フィルタのルールを追加する

1. Firewall 設定で「有効 IP フィルタ」を有効にする。

IPフィルタ 有効IPフィルタ	
適用	
キャンセル	

2. [適用]を選ぶ。

変更した設定が反映されます。

3. Firewall 設定の設定項目から「追加」行の[>]を選ぶ。

IPフィルタ 有効IPフィルタ	•
フィルタリング方法: White List	>
適戶	Ħ
キャン	セル
一覧表示 追加	>

4. 各項目を設定する。

← 追加	
送信元IPアドレス:	
送信先IPアドレス:	
プロトコル TCP	>
送信元ポート番号:	
送信先ボート番号:	
適用	
キャンセル	

項目名	説明
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを入力します。
送信先 IP アドレス	送信先 IP アドレスを入力します。
プロトコル	制御するプロトコルを選択します。
送信元ポート番号	送信元ポート番号を入力します。
送信先ポート番号	送信先ポート番号を入力します。

5. [適用]を選ぶ。

IP フィルタのルール一覧に追加されます。

IP フィルタのルールを削除する

- 1. IP フィルタのルール一覧から、削除したいルールの []] を選ぶ。
- 2. [削除する]を選ぶ。

5.7.5. UPNP 設定

ネットワークに接続する機器同士の接続を許可します。

メインページで [詳細設定] → 「ルーター機能詳細設定」行の [>] → [UPNP 設定] を選ぶ。
 UDND 記字の記字項目がまニナやナオ

UPNP 設定の設定項目が表示されます。



項目名	説明
設定	UPNP 機能を有効/無効にします。

2. 設定を変更する。

3. [適用]を選ぶ。

5.8. 本体機能詳細設定

パスワードや言語など、本体機能の詳細な設定を行います。

5.8.1. パスワード変更

本機にログインする際のパスワードを変更することができます。

メインページで [詳細設定] → 「本体機能詳細設定」行の [>] → [パスワード変更] を選ぶ。

パスワード変更の設定項目が表示されます。

← 本体機能詳細設定	
▼ パスワード変更	
現在のパスワードを入力してください。 パスワード:	
	2
新しいパスワードを入力してください。	
	8
8文字以上の英数字を入力してください	
新パスワード(再入力):	
	Ø
適用	
キャンセル	

項目名	説明
パスワード	現在のパスワードを入力します。
新パスワード	新しいパスワードを入力します。 大文字小文字および数字を含めた 8 文字以上のパス ワードを推奨します。
新パスワード(再入力)	新しいパスワードを確認するために再入力します。

2. 設定を変更する。

3. [適用]を選ぶ。

5.8.2.言語

設定画面の言語を切り換えることができます。

1. メインページで [詳細設定] → 「本体機能詳細設定」行の [〉] → [言語] を選ぶ。 言語の設定項目が表示されます。



項目名	説明
言語	設定画面の表示言語を選択します。

- 2. 設定を変更する。
- 3. [適用する]を選ぶ。

変更した設定が反映されます。

5.8.3. リセット

本機の再起動、または初期化を行うことができます。

1. メインページで [詳細設定] → 「本体機能詳細設定」行の [〉] → [リセット] を選ぶ。 リセットの設定項目が表示されます。



項目名	説明
再起動	本機の再起動を行います。設定の変更内容は破棄さ れません。
ファクトリーリセット	設定の変更内容をすべて破棄して、本機の再起動を 行います。

5.8.4. APN 設定

APN の設定を行います。

メインページで [詳細設定] → 「本体機能詳細設定」行の [>] → [APN 設定] を選ぶ。
 APN 設定の設定項目が表示されます。

	5 	
,	64X/N	
~	, APN Namel APN,User Name,MMC,MNC,認証タイプ	í

項目名	説明
一覧表示	APN 設定の一覧が表示されます。 利用したい APN 設定を選択してください。選択された APN 設定には、チェックマークが付きます。

APN 設定を追加する

1. APN 設定の設定項目から「APN を追加」行の[+]を選ぶ。

▼ APN設定	
一覧表示	
✓ APN Name1 APN,User Name,MMC,MNC,認証タイプ	Ū
+ APNを追加	

2. 各項目を設定する。

← 追加		
名前:		
APN:		
ユーザー名:		
パスワード:		
Mcc:		Ø
441		
MNC:		
202		
認証タイプ: PAP or CHAP		>
	適用する	
	キャンセル]

項目名	説明
名前	APN 設定の名前を任意で入力します。
APN	APN を入力します。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
МСС	MCC を入力します。
MNC	MNC を入力します。
認証タイプ	認証タイプを None/PAP/CHAP/PAP or CHAP から選択します。

3. [適用する]を選ぶ。

変更した設定が反映されます。

APN 設定を確認する

APN 設定の一覧から、確認したい設定の[i]を選ぶ。
 APN 設定の詳細が表示されます。

← APN詳細表示	Î
名前:	APN Name1
APN :	****
ユーザー名:	*****
パスワード :	••••••
MCC :	XXX
MNC :	XX
認証タイプ:	None

APN 設定を削除する

- 1. APN 設定の一覧から、削除したい設定の [i] を選ぶ。
- 2. 画面右上の [] を選ぶ。
- 3. [削除する]を選ぶ。

5.8.5. LED オフ機能

LED(本体前面のシステム状態ランプ)を、夜間など指定した時間帯に OFF にすることができます。

メインページで [詳細設定] →「本体機能詳細設定」行の [>] → [LED オフ機能]を選ぶ。
 LED オフ機能の設定項目が表示されます。

▼ LEDオフ機能	
有効にする	
OFFにする時間:	XX:XX
ONにする時間:	XX:XX
適用	
キャンセル	

項目名	説明
有効にする	LED オフ機能を有効/無効にします。
OFF にする時間	LED を OFF にする時間を入力します。
ON にする時間	LED を ON にする時間を入力します。

- 2. 設定を変更する。
- **3. [適用]を選ぶ。** 変更した設定が反映されます。

5.9. 本体情報

本機に関する各種情報を表示します。

1. メインページで [詳細設定] → 「本体情報」行の [>] を選ぶ。 本機に関する各種情報が表示されます。

← 本体情報	
IMEI:	******
ICCID:	*****
ソフトバージョン:	*****
起動時間:	*****
再起動理由:	*****
OSS情報	>

項目名	説明
IMEI	IMEI 番号が表示されます。
ICCID	ICCID 番号が表示されます。
ソフトバージョン	ソフトバージョンが表示されます。
起動時間	本機を起動してからの時間が表示されます。
再起動理由	前回の再起動の理由が表示されます。
OSS 情報	OSS(オープンソースソフトウェア)に関する情報 が表示されます。

6. その他

6.1. 使用上のご注意

本機を正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前にこの「使用上のご注意」をよくお読みください。

- 他の機器が多く接続されている延長コードに本機を接続しないでください。
- 感電またはその他の危険を回避するために、電源プラグは清潔で乾燥した状態に保ってください。
- •本機は卓上設置専用として設計されています。その他の物を重ね置きしないでください。熱や歪みにより本機が損傷する場合があります。また、放熱のため、本機の周囲に少なくとも5 cm 以上のスペースを確保してください。
- 塗装や印刷がはがれる可能性があるため、本機の外装を引っ掻いたりしないでください。
- 本機を電子レンジ・冷蔵庫・携帯電話など、強力な磁場や磁界が発生する電子機器のそばに置かないでください。
- •本機を使用する環境温度については、本機の「動作環境」の仕様範囲内で使用してください。
- ケーブルが損傷または劣化した場合は利用を中止してください。
- 本機のほこりや汚れをふきとる場合は、乾いた布でふきとってください。なお、清掃する前に、 電源コードや LAN ケーブルなどすべてのケーブルを抜いてください。
- クリーニング液またはスプレー式洗浄剤を利用して本機を清掃しないでください。
- •本機をテレビ、ラジオなどの近くで使用する場合、影響を与えることがあります。
- 電波の悪い場所に移動したり、天候など外部の環境により通信が途切れることがあります。電波 状況のよい場所に移動していただくか、サポートデスクにご連絡をお願いします。

6.2. **無線 LAN 機能について**

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯、および 5 GHz 帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っている ことがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4 GHz/5 GHz 帯です。2.4 GHz 帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用 機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無 線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が 運用されています。

- 1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所 を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、サポートデスクまでお問い合わせください。

4. 本製品の無線 LAN 機能は、2.4 GHz 帯の周波数を使用します。



・無線 LAN 機能: 2.4DS8/OF8
 本製品は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。与干渉距離は約 80 m 以下です。

5 GHz 機器使用上の注意事項

本機器が使用するチャンネルは以下のとおりです。

IEEE802.11a/n/ac/ax			
152	W52	W53	W56

- 5.6 GHz 帯は基地局との通信専用です。電波法の規定により、通信開始前にレーダー検出を行います。レーダーが検出された場合は一時的に通信が中断されることがあります。
- 本機器内蔵の無線 LAN を 5.2 GHz 帯または 5.3 GHz 帯でご利用になる場合、電波法の規定により屋外ではご利用になれません。
- 5.3 GHz 帯を選択した場合は、電波法の規定により、通信開始前にレーダー検出を行います。レ ーダーが検出された場合は一時的に通信が中断されることがあります。

無線 LAN に関するご注意

紛失や盗難などによって、本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被 害や損害が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねます。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーについて

- ハッキングや悪意のある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュア な無線 LAN を使用していることを確認してください。
- ・無線 LAN ではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティー対策を施さず、あるいは無線LANの使用上やむを得ない事情により、セキュリ ティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任 を負いかねます。

6.3. 輸出管理規制

本製品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける 場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場 合があります。本製品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要 となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合 わせください。

6.4. よくある質問(Q&A)

本機を使用中に困ったときや動作しなくなったときは、お問い合わせの前に下記の解決方法をお試しください。それでも正常に動作しないときは、サポートデスクにお問い合わせください。

電源アダプタを接続後 POWER ランプが点灯しない。

- すべてのケーブルを正しく接続しているか確認してください。
- ・電源がオフになっています。付属の電源アダプタを正しく接続しているかご確認ください。

本機をお買い上げ時の設定に戻したい。

先端が細いものを使用して、本機の RESET ボタンを 7 秒以上押し、本機を再起動してください。 設定内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

深夜2時~5時の間に本機が再起動した。

自動システムアップデート機能により、ソフトウェアが最新のバージョンにアップデートされる場合があります。再起動後、システム状態ランプの表示が正常な場合は、そのままご使用ください。

通信速度がおそい。(LINK 1/LINK 2 のランプが点滅している。)

基地局からの電波が弱い状態です。本機を窓際など電波状態のよい場所へ移動させ、本機底面にある「矢印」を屋外に向けて設置してください。

通電後、LAN 端子の状態ランプが点灯しない。

該当の LAN 端子にインターネット接続がされていません。LAN 端子に接続されているデバイスが 通電しているか、LAN ケーブルが繋がっているかご確認ください。

6.5. 主な仕様

外形寸法

約 215 mm×150 mm×70 mm (高さ×幅×奥行)

質量

約1.4 kg(本体のみ)

最大消費電力

60 W

定格電流/電圧

DC 5 A、12 V AC 100 V

動作環境

温度:0-40 ℃ 湿度:0-80%

有線 LAN

5GBASE-T (1) 1000BASE-T (3) Auto-nego、MDI/MDI-X

無線 LAN

IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax

無線 LAN アンテナ

4x4 MIMO

ローカル 5G(基地局との通信のみに使用)

対応周波数:4.8-4.9 GHz 帯

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

6.6. 利用できる通信インターフェースの仕様

高速 LAN インターフェース				
ポート(数)		100 Mbps/1G bps/2.5G bps/5G bps (1)		
規格		IEEE 802.3u/IEEE 802.3ab/IEEE 802.3bz/IEEE 802.3an		
全二重/半二重		自動検出		
MDI/MDI-X		自動検出		
物理インターフェース		RJ-45		
LAN インターフェース				
ポート(数)		10 Mbps/100 Mbps/1G bps (3)		
規格		IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3ab		
全二重/半二重		自動検出		
MDI/MDI-X		自動検出		
物理インターフェース		RJ-45		
無線 LAN インターフェース				
2.4G	通信規格	IEEE 802.11b/g/n/ax		
	周波数	2,400-2,484 MHz		
	伝送方式	DS-SS 方式(IEEE 802.11b) OFDM 方式(IEEE 802.11g/n/ax)		
	最大伝送速度	最大 1150 Mbps		
5G	通信規格	IEEE 802.11a/n/ac/ax		
	周波数	W52: 5,150 - 5,250 MHz W53: 5,250 - 5,350 MHz		
	伝送方式	OFDM 方式		
	最大伝送速度	最大 2402 Mbps		
その他				
無線 LAN アンテナ		4x4 MIMO		
無線 LAN セキュリティー		 None (Open) WPA2-PSK (TKIP/AES) WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES) WPA3-PSK (AES) WPA3-OWE (AES) WPA2/WPA3-PSK (AES) 		

ご注意

規格による理論上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ伝送速度は異なります。

6.7. 商標について

本書に記載されているシステム名、商品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。